

## 《皆さまに支えられて 2号機が営業運転開始20年を迎えました》

女川原子力発電所2号機が営業運転開始から20年を迎えました。長年にわたり、地域の皆さまをはじめ多くの方々に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございましたこと、あらためて御礼申し上げます。

2号機は、当社2基目の原子力発電所として、平成元年8月に着工し、平成6年12月からの試運転を経て、平成7年7月28日に営業運転を開始しました。これまでに、約830億kWhを発電し、宮城県をはじめ東北地域の電力の安定供給に貢献してまいりました。

東日本大震災以降、1～3号機は安定した状態で停止中ですが、2号機は平成25年12月に新規制基準適合性審査申請を行い、原子力規制委員会の審査を受けております。また、審査と並行して、防潮堤などの安全対策工事に鋭意取り組むとともに、万一、重大な事故が発生した場合でも安全対策を確実に機能させるため、夏季・冬季や夜間、休日などさまざまな状況を想定した訓練を繰り返し実施しております。地域の皆さまにご安心いただけるよう、今後も安全対策工事や訓練を進めるとともに、新規制基準を満たすことはもちろん、より高い安全レベルを目指し継続的に取り組んでまいります。

なお、工事が完了する平成29年4月以降、地域の皆さまからのご理解を得ながら、準備が整った段階での再稼働を目指してまいります。



安全対策工事を進めている女川原子力発電所  
(右奥が2号機)

### <今年成人の発電所所員より>

2号機が営業運転開始から20年を迎えたことから、今年成人の発電所所員より、現在取り組んでいる仕事の内容や抱負を紹介させていただきます。



保全部 原子炉グループ 佐藤 貢 (青森県出身)



みつぐ

私は、原子炉設備の修繕を担当しており、設備に不具合がないかなどをチェックする仕事をしています。2号機と同じく20歳ということで、適合性審査にしっかりと対応していくためにもこれまで以上に仕事に対する責任感を持って発電所の安全対策に取り組んでいこうと思います。



保全部 電気グループ 小林 拓矢 (青森県出身)



私は、電気設備の点検や、安全対策のひとつである電源車の操作訓練を中心に業務を行っております。今年、2号機と同じく成人を迎えるにあたり、先輩方のような技術者になれるよう日々努め、引き続き、精度の高い設備点検や安全対策に取り組み、各号機の安全性を高めていきたいと思っています。

## 《放射線出前講座を開催しました》

6月22日、女川原子力PRセンターにおいて、石巻市立鮎川小学校の5、6年生11人を対象に、放射線出前講座を開催しました。

当日は、東北大学名誉教授・東北放射線科学センター理事の工藤博司先生を講師として招き、放射線を発見した人物である「レントゲン」の紹介や、医療・工業などさまざまな分野で活用されていることについて学びました。また、私たちの暮らしの中で受けている放射線を知っていただくため、測定器を用い、肥料や食べ物から出ている放射線を測定し、音や数字で確認する実験を行いました。

参加者からは「放射線のことを楽しく学べた」「放射線は危険なものだと思っていたが、話を聞いてイメージが変わった」などの感想がありました。



# 女川原子力PRセンターからのお知らせ

## 「第14回 東北電力図画コンクール」募集スタート!

当発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいという思いから、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。

昨年は4965点もの作品をお寄せいただきました。

今年も以下のとおり図画コンクールを開催いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

### テーマ **想像の海の生きものたち** 「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう!

**【募集期間】** 7月18日(土)～8月31日(月)

**【対象】** 小学生以下の皆さん

**【表彰】** 最優秀賞/1名、優秀賞/7名、各審査委員特別賞/9名、奨励賞/20名  
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

**【用紙】** A4(210mm×297mm)の画用紙に描いてください。

**注意事項** 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。

- ・ 絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。
- ・ 貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。
- ・ 応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。
- ・ 応募作品の返却はいたしません。



女川原子力PRセンター内  
「東北電力図画コンクール」事務局

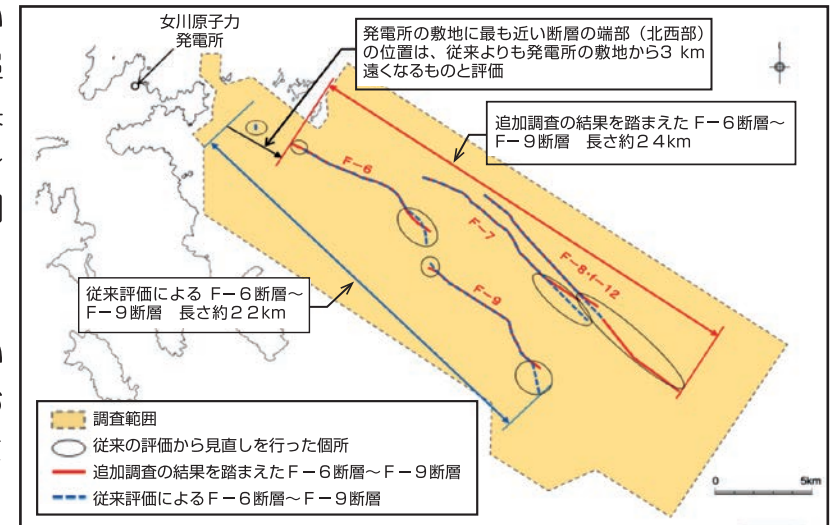
**お問い合わせ 応募先**  
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
TEL/0225-53-3410  
開館時間/9:30～16:30  
休館日/8月17日(月)、9月14日(月)

## 新規制基準適合性審査状況のお知らせ(7月末現在、審査会合61回)

### 《敷地周辺の活断層評価について》

2号機の適合性審査において、発電所周辺海域における追加海上音波探査などの実施結果と、それに基づくF-6断層～F-9断層の評価について説明しました。

原子力規制委員会からは、「必要な検討がなされており、適切に評価されている」と了承されました。



審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。

[東北電力 女川審査会合](#)

[検索](#)

### 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.063マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

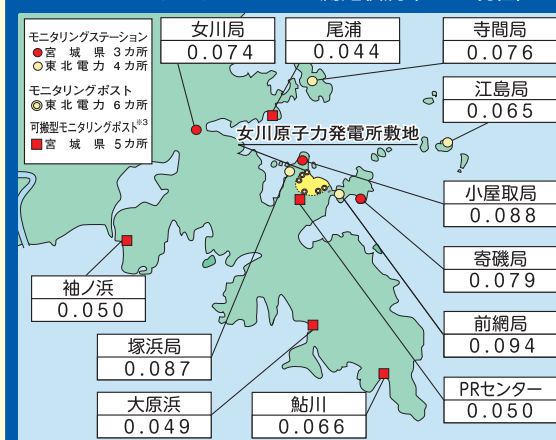
※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

#### モニタリングステーションの測定状況(7/31現在)



単位:マイクロシーベルト/時

#### (参考)モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	測定値(μSv/h)
平成23年3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	
平成23年3月13日	1.8～21※4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
平成24年4月1日	0.063～0.098
平成25年4月1日	0.055～0.076
平成26年4月1日	0.046～0.065
平成27年7月1日	0.041～0.071
平成27年7月31日	0.044～0.063

単位:マイクロシーベルト/時